

声を出そう

3学期は、1年間のまとめの時期であり、新年度、4月からのことを考える時期でもあります。まとめにおいて一番大切なことは、やり残しがないようにすることです。

3年生の私立高校入試が行われました。事前の面接練習で「野田中学校のよいところは何か」と聞いてみました。多くの3年生が、「あいさつがよいところです」「凡事徹底を行っている学校です」と答えてくれました。凡事徹底は野田中学校のスローガンとなっており、学校の伝統として定着（ていちゃく）しています。

これからは、凡事徹底を土台として、さらに次のステージに進もうと思います。それは「声を出す」ということです。まずは、朝の「おはようございます」、日中の「こんにちは」、そして帰りの「さようなら」のあいさつです。名前を呼ばれたときなどの「はい」という返事もそうです。

授業中はどうでしょうか。発表の機会があるときの声の大きさ、話す内容はどうでしょうか。今よりも、もっと大きな声で自信をもって堂々と発表してほしいのです。一言、二言の単語ではなく、文あるいは文章で、理由や根拠（こんきょ）を入れながら説明してほしいのです。

音楽の授業で、3年生がグループごとに発表したことがありました。6つのグループがありましたが、どのグループも堂々と大きな声で発表していました。こういった経験を積んでいくと自信がついていくと思います。

学級や部活動ではどうでしょうか。自分が所属する集団をもっとよくしようという考えをどんどん出してほしいのです。生徒会活動もそうです。自分たちが学び、成長していくための学校をもっとよくするために、もっといい学校にするために、意見を出してほしいのです。声を出してほしいのです。

声を出すといえば、合唱もそうです。野田中学校の文化祭「玉梨音祭」では合唱コンクールが行われます。合唱は学級ごとに行われます。ここを一つの目標にできればと思います。

皆さんは、小学校からずっと学年120名程度の変わらない集団で生活してきました。高校に進学すれば、たくさんの中学校から人が集まってきます。そのときに、声を出せるかどうかは重要なことだと思うのです。あいさつも返事も、自分の考えや意見もそうです。新しい大きな集団でも、声を出すことで、自分の力を発揮できるようにしてほしいと考えています。

今までよりも、あいさつも返事も意識して声を大きく出してみてください。きっと何かが変わるはずです。自分の考えや意見を発表するためには考えなければなりません。発表できるということは、考えることができるということです。この考える力は皆さんのこれからの人生を支えるものになるはずです。

生徒の皆さん、みんなで声を出していきましょう。そして、野田中学校を今まで以上に、活気のある生き生きとした学校にいきましょう。